

# 一般質問発言通告表

平成28年3月市議会定例会

(質問予定日 3月2日)

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
1	8番 長南 誠 (一括)	1 林業の振興について  2 北村山公立病院の充実について	1 県は「やまがた森林(モリ)ノミクス」を宣言し、地域の森林資源を「森のエネルギー」「森の恵み」として生かしていくとしているが、市の対応を問う (1) 森林を守る対策について ナラ枯れ対策及び森林病虫害防除 (2) 森林を育てる対策について 森林経営を担う人材の育成 (3) 森林を生かす対策について 県産木材・木質バイオマス利用の推進 (4) 森林を支える対策について 市民参加の森づくりや木に親しむ活動の推進 (5) 学校林の現状と利活用について  1 交通網の整備、人口の減少に伴い利用者の減少、医師不足による収入の減少、救急患者受け入れの増大など今後の経営圧迫が運営自治体の負担になると推測される (1) 行政と地域住民が一体となった県・国への要望活動について	市長 教育長 関係課長
2	6番 菊池 貞好 (一問一答)	1 夢のあるまちづくりを見据えた村山市の道路整備を核とした開発計画について	1 楯岡鶴ヶ町西線の村山産業高校までの道路整備計画そして居合神社までの延伸計画の早期実現を目指す事が必要でないか 2 楯岡本郷地区の狭隘な道路の解消等のための楯岡東根温泉線の延伸計画の今後の進め方をお聞きしたい 3 駅西開発に伴う東北中央自動車道インターチェンジから村山駅までの魅力ある道路計画と商業施設を含めた開発計画が村山市の今後を占う重要な事業になると思われるがどのように開発を進めていくのか	市長 関係課長

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
3	4番 結城 正 (一問一答)	1 市民の暮らしについて  2 市長の政治姿勢について  3 大旦川河川整備と村山駅西エリア開発について	1 格差拡大の中貧困世帯が増加し、市民の暮らしが、悪化してきている状況にある (1) 市長として、市民の暮らしの現状をどう把握しているのか (2) 改善にむけ、市としてどう対応していくのか  1 今年から18才選挙権が始まり、選挙の年といわれ、夏の参議院選挙、来年1月の知事選挙があります (1) 市民の暮らしに直結する参議院選挙・知事選挙に対する市長の態度について (2) 来年9月の市長選挙に対する市長の態度について  1 大旦川河川整備と村山駅西エリア開発を一体のものとして、整備を図らなければならないと考えるが、市としての計画は、どのようになっているのか 2 市民、地元地区、地権者などの意向を十分に取り入れ整備を進めていかなければならないと思うが説明会などの計画は、いつ頃になるのか	市長 関係課長
4	10番 川田 律子 (一問一答)	1 国民健康保険と後期高齢者医療保険について  2 要介護者への「障害者控除認定証」発行の促進について	1 後期高齢者医療保険料の引き上げ中止と国民健康保険税の引き下げを (1) 国の保険者支援による国保会計と被保険者への影響について (2) 後期高齢者医療保険料の引き上げは年金生活者の生活を圧迫するのではないか (3) 村山市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)について (4) クアハウス基点をデータヘルス計画にどう活用するのか  1 申告の際に要介護者への障害者控除認定証があれば控除の対象になるが本市の現状について伺う (1) 村山市は申請による発行だが、対象者に申請書の送付は出来ないのか (2) 要支援者は対象にならないのか	市長 副市長 関係課長
5	5番 矢口 正 (一問一答)	1 本市の大規模な宅地開発の実現について	1 近年、楯岡地域の市街を眺めた場合、東新町地区が大きく発展しスーパーはもとより専門医も多く存在し、住み良い環境になっているそこで更なる発展を計画すべきと思う 例えば集会施設の建設を考えてはどうか 2 宅地の計画地区は、東新町南八号線の両側約10haの水田地帯が東西に緩やかな段差があって住宅団地として最適地と考えるがどうか	市長 関係課長

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
6	2番 高橋 菜穂子 (一問一答)	1 子育て世代の視点に立った施策のあり方について	1 条件が整えば違う地域に住みたいと思っている子育て世帯が市外転出を希望している現実があるが、満足度を上げるためのひとつとして、子どもの遊び場の整備があると考えerかどうか  (1) 市内の屋内外の遊戯施設の場所と数 (2) 東沢公園の屋外遊戯場の整備状況 (3) 観光スポットと市関連施設における授乳室の設置状況	市長 教育長 関係課長
		2 ふるさと納税に対する取り組みについて	1 全国の市町村がしのぎを削っているふるさと納税だが、村山市が総力を結集し、特色をだして増額につなげる必要があると考える  (1) これまでの分析と対応策 (2) 返礼品 TOP10 は何か	
		3 農業と他産業との連携について	1 基盤産業である農業が国際競争の中で生き残るために、他産業との連携を進めるべきだと考えるが、どうか  (1) 六次産業化推進協議会の進捗について (2) 地産地消と食育の推進についての現状	
7	11番 中里 芳之 (一問一答)	1 労働者の賃金引き上げと中小企業小規模企業の振興策について	1 アベノミクスによる地方経済の疲弊の下、労働者の賃上げや雇用の確保と中小企業・小規模企業の振興をどうはかっていくか  (1) アベノミクスをどう評価するか アベノミクスで地方経済はどうなったか 消費税増税の影響はどうか (2) 公務・公共サービスに従事する労働者の労働条件の改善をどうはかっていくか (3) 「既存の企業を大事にして」事業継続を支援し雇用を増やす方策をどうするのか ① 中小企業・小規模企業振興条例の制定を ② 住宅リフォーム助成制度の拡充と店舗リフォーム助成への拡大について	市長 関係課長
		2 「改定」介護保険の新総合事業について	1 新総合事業は「要支援」の切り捨てにならないか  (1) 新総合事業の受け皿づくりの進捗状況はどうなっているか (2) 新しい要支援者は、希望する専門的サービスを受けられるのか (3) 自立の強要、サービスからの「卒業」が強制されることはないか (4) 認定を受けさせない水際作戦が拡大されるのではないか	

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
8	1 番 菊池 大二郎 (一括)	<p>1 「オンリーワン都市・村山」の構想について（文化、教育、観光事業関連）</p> <p>2 楯岡開発について</p> <p>3 環境問題について</p> <p>4 除雪について</p>	<p>1 総論として、村山に「今」あるものを本当に活かしているか・活かしているのかという全体的な視点をもつことが重要であると考え</p> <p>(1) まずは「知る」という視点から</p> <p>① 市や関連団体からの発信で様々な生涯学習事業が実施されているが参加状況なども含めた現状と課題</p> <p>② 子供たちが地域の歴史を「知る」ために具体的かつ独自の教育課程は果たされているのか</p> <p>③ 子供たちからお年寄りまで、また各自治会を巻き込んだ「知る」ための共同調査・編集作業はどうか</p> <p>(2) そして、「伝える」「活かす」という視点へ</p> <p>① 本市にしかない遺産や偉人の教えがあるとりわけ、信仰の色彩に特化した環境に恵まれているが活かす術はないか 国際的な視点も含め、面白い施策が出来る分野と考える</p> <p>② 前段にあげた市民全体での「知る」作業から「伝える」作業への連動が必要と思うがどうか（観光・教育・日常、様々な場面に活用できる具体策）</p> <p>③ 通年での観光事業、誘客の視点の必要性</p> <p>1 楯岡高校跡地利用の問題が未だ不透明であるが具体的にどのような状況にあるのか また、楯岡高校が今年度をもって事実上閉校するわけだが長きにわたって本市と強い関わりも持ってきた点も考慮した施策があってもよいと思うがどうか</p> <p>2 前定例会にて、鶴ヶ町西線の延伸につき、産業高校生の通学の安全確保のためにも「県立」の視点から県との連携を図りながら早急に取り組まれるよう要望したが進展はあるか</p> <p>1 本市の自然の豊かさを当たり前のように口にはするが現状はどうか 鳥獣被害の温床であり、荒廃した里山自体が根源的な問題ともいえる</p> <p>(1) 里山の現状は</p> <p>(2) 実際の取り組み、成果と課題</p> <p>(3) 国・県との連携、または市単独での整備の在り方</p> <p>1 今回の冬期間は一部地域を除き、非常に降雪が少ない状況が現在まで続いている 今後の除雪事業の在り方について重要な転機を迎えていると考える</p> <p>(1) 例年と比較した今季の除雪稼働実績について（特別交付税など含む）</p> <p>(2) 受託業者からの反応、市民の反応</p> <p>(3) 前渡金を含めた抜本的な委託関係の修正、見直し</p> <p>(4) 今後の除雪体制の在り方、方針について</p>	市長 教育長 関係課長

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
9	7番 長谷川 元 (一問一答)	1 市内遊戯施設について	1 前市長より行うことになっている東沢公園の遊戯施設の現在の状況について伺う また以前より屋内型のスケボーパークの建設などを訴えてきたが、廃校利用などの活用方法として採用する考えはないか 2 遊戯施設も大事だがそもそも青少年の居場所が市内にはない 「場所」そのものをつくる発想よりも「居場所」をつくる発想に転換はできないか	市長 教育長 関係課長
		2 今後の村山市の教育について	1 東根市に中高一貫校である東桜学館が開校する村山市内からも多数の生徒が通うことになると思うが状況についてどのように認識しているのか (1) 県が力を入れて先進的な教育を行う中高一貫校に負けないような先進性をもった教育に取り組んでいくべきだと考えるがどうか (2) 教育現場へのタブレット端末などの積極的な導入を図るべきだと考えるがどうか	
		3 民間活力の導入について	1 本年指定管理者制度の見直しを行っているが、今後施設建設などに民間活力を導入していく考えはないか (1) PFI 制度の導入についての考え方について問う 道の駅の移転や新たな建設について生かせるのではないか (2) 指定管理者制度から業務委託へ変更することも考えられるか (3) 市内市有施設の民間移譲の可能性についての考えはどうか	
10	14番 海老名 幸司 (一問一答)	1 国勢調査の結果について	1 認識、感想、今後の対応	市長 関係課長
		2 公共施設の維持管理について	1 耐震計画の成果と今後 2 公共施設総合管理計画 3 指定管理者制度について (1) 業務委託との区別 (2) 公募 (3) 見直し指針（検討事項）	
		3 子育て支援制度について	1 児童センターの組織改編 2 保育の質について 3 戸沢保育園の指定管理について	

質問者欄の（一括）及び（一問一答）とは、次の質問方式の略称です。

（一括）…一括質問・一括答弁方式

（一問一答）…一括質問・一問一答方式